

# The Japanese Journal of PHYCOLOGY

## CONTENTS

<b>Sachito Enomoto and Kazuo Okuda:</b> Culture studies of <i>Dictyosphaeria</i> (Chlorophyceae, Siphonocladales) 1. Life history and morphogenesis of <i>Dictyosphaeria cavernosa</i> .....	225
<b>Hideyuki Nagashima and Ikujiro Fukuda:</b> Morphological properties of <i>Cyanidium caldarium</i> and related algae in Japan .....	237
<b>M. Ratnasabapathy and Ryozo Seto:</b> <i>Thorea prowsei</i> sp. nov. and <i>Thorea clavata</i> sp. nov. (Rhodophyta, Nemaliales) from West Malaysia .....	243
<b>Sandra Lindstrom:</b> Female reproductive structures and strategy in a red alga, <i>Constantinea rosa-marina</i> (GMELIN) POSTELS et RUPRECHT (Dumontiaceae, Cryptonemiales) .....	251
<b>Toshihiko Kudo and Michio Masuda:</b> A taxonomic study of <i>Polysiphonia morrowii</i> HARVEY (Rhodophyta, Ceramiales) .....	263 (in Japanese)
<b>Masaaki Tanaka:</b> The plankton algae of "Tame-ike" ponds in the suburbs of Nagoya, Japan (5) .....	273 (in Japanese)
<b>Mitsuru Marui, Shigeomi Inai and Tadao Yoshida:</b> Growth and maturation of six species of <i>Sargassum</i> and <i>Cystoseira</i> (Phaeophyta, Fucales) in Oshoro Bay, Hokkaido, Japan .....	277 (in Japanese)



### Notes

<b>Hiroshi Yabu and Ikuko Shihira-Ishikawa:</b> A long chromosome in the cyst of <i>Acetabularia ryukyuensis</i> OKAMURA et YAMADA .....	259
<b>Isamu Akatsuka:</b> Use of names <i>Pterocladia tenuis</i> OKAMURA and <i>P. densa</i> OKAMURA .....	272
<b>Tadao Yoshida, Hideki Matsue and Akio Fukuzawa:</b> Polyhalogenated monoterpenes from <i>Plocamium telfairiae</i> (Rhodophyceae, Plocamiaceae) .....	282
<b>Mitsuo Chihara:</b> Phycological research activities in China (2) .....	261
<b>Munenao Kurogi:</b> XIII International Botanical Congress at Sydney, Australia (Report) ..	286
Obituary .....	250, 283
Book review .....	258
Announcement .....	288

## 日本藻類学会

日本藻類学会は昭和28年に設立され、藻学に関心をもち、本会の趣旨に賛同する個人及び団体の会員からなる。本会は定期刊行物「藻類」を年4回刊行し、会員に無料で頒布する。普通会員は本年度の年会費4,000円(学生は2,500円)を前納するものとする。団体会員の会費は5,000円、賛助会員の会費は1口15,000円とする。

入会、退会、会費の納入および住所変更等についての通信は 113 東京都文京区弥生 2-4-16「学会センタービル内」日本学会事務センター宛に、原稿の送付およびバックナンバー等については 305 茨城県新治郡桜村天王台 1-1-1 筑波大学生物科学系内日本藻類学会宛にされたい。

## The Japanese Society of Phycology

The Japanese Society of Phycology, founded in 1953, is open to all who are interested in any aspect of phycology. Either individuals or organizations may become members of the Society. The Japanese Journal of Phycology (SÔRUI) is published quarterly and distributed to members free of charge. The annual dues (1981) for overseas members are 5,000 Yen (send the remittance to the Business Center for Academic Societies Japan, 4-16, Yayoi 2-chome, Bunkyo-ku, Tokyo, 113 Japan).

Manuscript for the Journal should be addressed to the Japanese Society of Phycology, c/o Institute of Biological Sciences, The University of Tsukuba, Sakura-mura, Ibaraki-ken, 305 Japan.

### 昭和56, 57年度役員

会 長: 千原 光雄 (筑波大学)  
庶務幹事: 原 慶明 (筑波大学)  
横浜 康継 (筑波大学)  
会計幹事: 田中 次郎 (筑波大学)  
評 議 員:  
秋山 優 (鳥根大学)  
広瀬 弘幸 (神戸大学)  
加崎 英男 (東邦大学)  
喜田和四郎 (三重大学)  
小林 弘 (東京学芸大学)  
右田 清治 (長崎大学)  
三浦 昭雄 (東京水産大学)  
中沢 信午 (山形大学)  
西澤 一俊 (日本大学)  
大森 長朗 (山陽学園短期大学)  
奥田 武雄 (九州大学)  
阪井与志雄 (北海道大学)  
谷口 森俊 (三重大学)  
舘脇 正和 (北海道大学)  
梅崎 勇 (京都大学)  
山岸 高旺 (日本大学)

### 編集委員会:

委員長 堀 輝三 (筑波大学)  
幹 事 渡辺 真之 (国立科学博物館)  
委 員 秋山 優 (鳥根大学)  
" 有賀 祐勝 (東京水産大学)  
" 巖佐 耕三 (大阪大学)  
" 岩崎 英雄 (三重大学)  
" 黒木 宗尚 (北海道大学)  
" 小林 弘 (東京学芸大学)  
" 正置富太郎 (北海道大学)  
" 右田 清治 (長崎大学)  
" 西澤 一俊 (日本大学)  
" 吉田 忠生 (北海道大学)

### Officers for 1981-1982

President: Mitsuo CHIHARA (Univ. of Tsukuba)  
Secretary: Yoshiaki HARA (Univ. of Tsukuba)  
Yasutsugu YOKOHAMA (Univ. of Tsukuba)  
Treasurer: Isao INOUE (Univ. of Tsukuba)

### Members of Executive Council:

Masaru AKIYAMA (Shimane University)  
Hiroyuki HIROSE (Kobe University)  
Hideo KASAKI (Toho University)  
Washiro KIDA (Mie University)  
Hiromu KOBAYASI (Tokyo Gakugei University)  
Seiji MIGITA (Nagasaki University)  
Akio MIURA (Tokyo University of Fisheries)  
Shingo NAKAZAWA (Yamagata University)  
Kazutosi NISIZAWA (Nihon University)  
Takeo OHMORI (Sanyo Gakuen Junior College)  
Takeo OKUDA (Kyuusyu University)  
Yoshio SAKAI (Hokkaido University)  
Moritoshi TANIGUCHI (Mie University)  
Masakazu TATEWAKI (Hokkaido University)  
Isamu UMEZAKI (Kyoto University)  
Takaaki YAMAGISHI (Nihon University)

### Editorial Board:

Terumitsu HORI (Univ. of Tsukuba), Editor-in-Chief  
Masayuki WATANABE (National Science Museum), Secretary  
Masaru AKIYAMA (Shimane University)  
Yusho ARUGA (Tokyo University of Fisheries)  
Kozo IWASA (Osaka University)  
Hideo IWASAKI (Mie University)  
Munenao KUROGI (Hokkaido University)  
Hiromu KOBAYASI (Tokyo Gakugei University)  
Tomitaro MASAKI (Hokkaido University)  
Seiji MIGITA (Nagasaki University)  
Kazutosi NISIZAWA (Nihon University)  
Tadao YOSHIDA (Hokkaido University)

## 学費送金は郵便振替で！

- 学校あての入学金、授業料、その他の納付金の御送金は、簡便で料金の安い郵便振替を御利用ください。
- お子さまの生活費の御送金にも便利です。
- 郵便振替口座はどなたでもお持ちになれます。
- お互いに口座をお持ちになると現金を動かさず格安な料金で御送金ができます。

詳しくはお近くの郵便局でお尋ねください。

この欄は、加入者あての通信にお使いください。

## 通 信 欄

フリガナ  
氏名

会 学 議 会 本 日

所 属

会 員 委 員 会 大 学 等

- 大会参加：する ・ しない
- 講 演：あり ・ なし
- 発表形式：口頭 ・ 展示 ・ どちらでも可
- 懇 親 会：出 ・ 欠

大会参加費 2,000円

懇 親 会 費 2,000円

- 送金合計額 \_\_\_\_\_ 円

該当事項を記入または○をつけて下さい。

この払込通知票は、機械で使用しますので、下部の欄を汚さないよう特に御注意ください。また、本票を折り曲げたりしないでください。（郵 政 省）



## 日本藻類学会第6回春季大会のお知らせ

日本藻類学会昭和57年度（第6回）春季大会を下記の要領で開催します。藻類に関係のあるあらゆる分野の研究についての発表を広く歓迎します。所属機関長への出張要請等の文書などご入用の方はご遠慮なく大会準備委員会まで宛先を明記してお申込み下さい。

今回は日本藻類学会創立30周年にあたりますので記念講演会やシンポジウム等も計画しています。

(1) 期 日 昭和57年3月30日(火)～4月1日(木)

(2) 会 場 筑波大学(国鉄常盤線土浦駅下車、関東鉄道バス②番より「筑波大中央」もしくは「高エネルギー研」行で筑波大中央下車(40分、料金360円)または荒川沖駅下車、関東鉄道バス「筑波大中央」行で終点下車(30分、料金320円)、徒歩3分。)

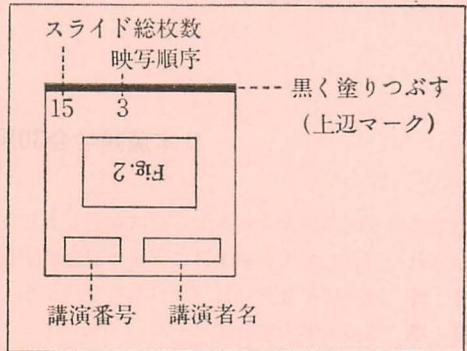
(3) 研究発表 発表形式は口頭発表と展示発表とします。口頭発表は1演題につき討論を含め15分を予定しています。展示発表は1演題につき幅180cm、高さ90cmの展示板を用意します。展示は原則として大会期間中とします。演者はポスター前で決められた時間に説明と質疑応答を行うこととなります。

(4) 参加申込み 講演の有無にかかわらず、大会に参加を希望される方は、同封の振替用紙にてお申込み下さい。参加費は2,000円です。懇親会(3月31日夜開催)に出席希望の方はさらに会費2,000円を添えてお送り下さい。

(5) 講演申込み 講演ご希望の方は、氏名(共同の場合は演者に◎印)、所属、題名、要旨(A4 400字詰原稿用紙使用、題名共600字以内)を添えて大会準備委員会までお申込み下さい。

本大会では発表形式が2通りになっています。ご希望の発表形式を、「口頭」あるいは「展示」と、要旨1枚目の原稿用紙の右上欄外に朱記して下さい。記入のない場合は大会本部で振り分けさせていただきます。

(6) 発表方法 口頭発表の場合：図・表はすべて35mmスライドに限ります。スライド枠には、下図のように講演者氏名、講演者番号(後日お届けする大会プログラムに記されているもの)、スライド総枚数、映写順序、上辺マークを記入して下さい。同一図、表をくり返し映写したい場合は、それに見合う枚数をダブらせてご用意下さい。



展示発表の場合：大会本部では1演題につき幅180cm、高さ90cm(市販の模造紙2枚分の大きさ)の展示板を用意します。その他の展示用具は各自で準備して下さい。ポスターの貼付にはセロハンテープまたはマグネット紙を使用して下さい(画鋲は使用できません)。デザインや展示方法は自由ですが、上記の大きさに合わせたポスターを前もって作成し、ご持参下さい。なおポスター作成にあたっては以下の点にご留意下さい。i) 表題は高さ5cm以上の大きさの文字を使用する、ii) 説明文は高さ1cm以上の文字を使用し、文章は必要最小限にとどめ、図、表、写真等との対応が明瞭になるよう配慮する、iii) 演者の氏名、所属を明記し、演者の顔写真(キャビネ判大)を貼付するのが望ましい、ポスターの貼付は3月30日午後1時よりとします。不明な魚は大会本部へお問い合わせ下さい。

(7) 宿泊案内 下記の宿泊施設リストを参照し、各自でお早めに直接申込んで下さい。

○筑波研修センター 新治郡桜村妻木645

TEL 0298-51-5152 シングル ¥2,400

[妻木バス停まで徒歩3分→大学中央までバスで約10分]

○ホテル・サンルート筑波 新治郡桜村花室1145-1

TEL 0298-52-1151 シングル ¥5,600, ツイン ¥10,400

[電々社宅前バス停まで徒歩5分→大学中央までバスで約15分]

○トレモントホテル 新治郡桜村天久保3-19-9

TEL 0298-51-8711 シングル ¥6,400, ツイン

¥11,000

[会場まで徒歩1分]

なお「筑波研修センター」の場合は2月末日まで学会員を優先予約できるよう配慮してあります。

(8) 大会参加申込み締切り 昭和57年1月20日

(9) 申込先・要旨送り先

〒305 茨城県新治郡桜村天王台1の1の1

筑波大学生物科学系内 日本藻類学会春季大会準備委員会

振替 宇都宮 0-2954

電話 0298-53-4533 または 2111

## 日本藻類学会30周年記念講演会のお知らせ

上記の第6回春季大会のお知らせにも記しましたように、本大会は日本藻類学会創立30周年にあたりますので、これを記念して大会第1日に下記の記念講演会の開催を予定しています。

日時 昭和57年3月30日(火)午後2時より

会場 筑波大学学生会館ホール

上記春季大会のお知らせの(2)会場の項に記述してあります関東鉄道バスにて、筑波大学学生会館前下車(筑波大学中央の4つ手前の停留場)徒歩3分

### 演題と演者

[日本における藻類学研究の進歩]

自然史科学分野における藻類研究の歩み

廣瀬弘幸(神戸大学名誉教授)

生理・生化学分野における藻類研究の歩み

西澤一俊(東京教育大学名誉教授)

水産科学分野における藻類研究の歩み

新崎盛敏(東京大学名誉教授)